

認知症予防理解深める

岐阜保健大で市民講座

岐阜市東鶯の岐阜保健大で12日、市民向け講座「研究センターセミナー」が開かれ、地域住民らが健康維持の秘訣について学んだ。

同大が地域への情報発信を目的に開く。昨年11月に続く本年度の4回目。これ

までは医師らが登壇し、加齢に伴う病気などについて語ってきた。

今回は、作業療法士の澤俊二同大教授が「認知症予防について〜リハビリテーションの視点から〜」と題して講演した。澤教授は今日1日に施行された「認知



症基本法」について、「人権意識を根底に考えられ

「タクティールケア」を施す澤俊二教授(右)＝岐阜市東鶯、岐阜保健大

た斬新な法律」と評し、概要を説明した。少子高齢化などの社会的背景から、「皆で支え合う、寛容な社会を構築する必要が高まっている」と訴えた。

その後、参加者は、認知症予防効果があるとされるスウェーデン生まれの皮膚のマッサージ「タクティールケア」やヨガに取り組んだ。

(亀山裕斗)